



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

# 介護福祉経営士 ニュース KFK News



未来志向型介護経営研究会 開催

## 「実地指導」を 事業改善の きっかけとして “活用”しよう



### CONTENTS

未来志向型介護経営研究会  
開催  
「実地指導」を事業改善の  
きっかけとして“活用”しよう  
----- 2

第4回「介護福祉のみらい」  
作文コンクール  
入選作品掲載  
----- 5

●今月の「介護ビジョン」  
●注目の書籍紹介  
----- 6

●開催決定!  
第5回 全国介護福祉総合  
フェスティバル in 仙台  
●「介護福祉経営士」  
出前説明会のご案内  
----- 7

イベント掲示板  
----- 8

一般社団法人  
日本介護福祉経営人材  
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局  
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>  
制作:株式会社日本医療企画  
編集・発行人:林 諄  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地  
ニッテン神田ビル3階



# 「実地指導」を事業改善の きっかけとして“活用”しよう

2019年5月、厚生労働省から介護サービス事業所に対する実地指導について新運用指針が示された。これに合わせ、日本介護福祉経営人材教育協会関東支部はこの新運用指針が策定された背景や目的をテーマとして、未来志向型介護経営研究会を開催。本特集ではその研究会の様態をレポートする。

## 調査研究から見てきた実地指導の課題

2020年1月21日に開催された未来志向型介護経営研究会では、2019年5月に厚生労働省より示された実地指導の新運用指針がテーマとして取り上げられた。講師は新運用方針の基礎となった「実地指導の効率性の向上に資する手法等に関する調査研究事業」を実施した株式会社ウエルビーの代表取締役であり、当協会理事でもある青木正人氏。

まずはじめに、青木氏は実地指導が監査と混同して認識されるケースが近年増えている点を指摘。実地指導はサービスの質の確保と保険給付の適正化を目的に、事業者の育成・支援をするための制度であり、不正請求や指定基準違反の疑いがある場合に行われる監査とは全く違うものであるという点をしっかりと理解する必要があると述べた。

また、青木氏は、介護サービス事業所の増加率とそれに伴う介護報酬返還件数の増加、指定取消・効力停止処分を受ける事業所が増えつつある点や、自治体ごとに実地指導への取り組み姿勢に差がある点について言及。調査による具体的なデータも提示しながら、今回の新運用指針の策定の背景にある実地指導の現状と課題を解説した。

## 自治体、事業所ともに実地指導の 有用性は実感している

青木氏が特筆すべきポイントとして挙げたのは実地指導の効果の実感に関する自治体へのアンケート調査の結果である。

「実地指導で事業所に対して指摘した事項が改善されて

いる」と感じている自治体は9割を超えており、さらに8割近くの自治体が「実地指導を受けた事業所のサービスや運営の改善につながっている」と感じているという結果が示された。このことから、青木氏は「調査によって実地指導の効果を認め、効率性だけを追い求めず、実地指導を丁寧に実施していきたいと考えている現場担当者が多くいることがわかったのは大変有意義だった」と語る。

また、同様の趣旨のアンケートを事業所に実施したところ、実地指導の効果を実感しているという回答が多く寄せられた。過半数の事業所が「実地指導での指摘の量がだんだん減ってきている」、「実地指導の機会に、自治体職員から疑問点などの解釈を聞き出せている」と答えている点に触れ「事業所にとってこれは大きなメリットになる」と高く評価した。

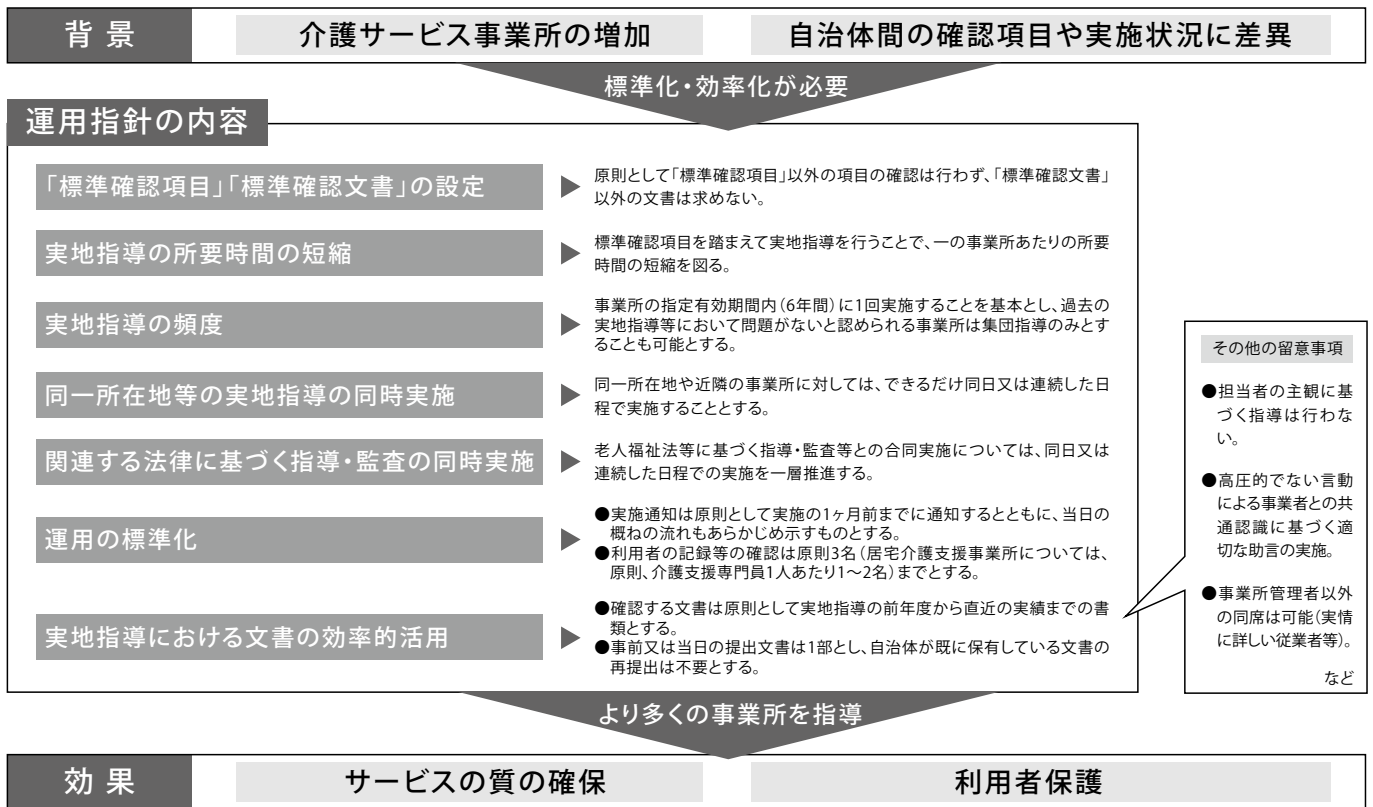
## 最大の目的はサービスの質の確保と、 利用者保護

今回の新運用指針の狙いは、実地指導の標準化・効率化である。具体的にはサービスの質の担保や利用者の保護といった観点で数を絞った「標準確認項目」と「標準確認文書」を設定し、原則それ以外のチェックは行わないようにすることで、一事業所あたりの指導時間の短縮や効率的な運用を目指す。また、実地指導の実施頻度について、事業所の指定有効期間内(6年間)に1回は実施することを基本とし、過去の実地指導などにおいて問題がないと認められる事業所は集団指導のみとすることなどが盛り込まれた。

青木氏は「今回の新運用指針によって自治体、事業所双



# ■介護保険施設等に対する実地指導の標準化・効率化等の運用指針の概要



その他の留意事項

- 担当者の主観に基づく指導は行わない。
- 高圧的でない言動による事業者との共通認識に基づく適切な助言の実施。
- 事業所管理者以外の同席は可能(実情に詳しい従業者等)。  
など

方の負担が軽減するのは間違いないと思う。ただし、自治体ごとに事情は違うのも確か。それを加味したうえでどれだけ標準化されるかがこれからの大きな課題」と語る。

加えて「自治体と事業所間で実地指導がプラスになるという共通認識は既にあることはわかっている。今後はお互いに双方向性を意識したコミュニケーションをとることが重要となる。実地指導をネガティブにとらえて警戒するのではなく逆に良い指導の機会だと考え、事業改善のきっかけとして活用していくような姿勢が望ましい」との見解を示した。

## 情報交換の場としてのグループワーク

研究会後半では、参加者を3つのグループに分け、「実地指導に対する自組織の取り組みと今後の展望」をテーマにグループワークが行われ、その内容が発表された。

### Aグループ

参加者の所属法人の中に実地指導の専門の担当者を持っている法人があり、その取り組みを紹介。法人独自の実地指導対策用チェックシートなども作成しているとの発表をうけ、青木氏からは「とても良い取り組みだと思う。今回の新運

用方針では事業管理者以外の同席が可能となっており、そういった意味でも効果的」とのコメントが寄せられた。

### Bグループ

実地指導に向けて記録の付け方についての勉強会を実施するなど記録を重視した工夫をしているという内容のほか、実際の実地指導での体験談として、疑義の残る指摘を受けたケースについて発表。青木氏は「記録は大変重要。法令違反につながる事態を避けるためにも正確な記録をつけるという意識が必要。また、行政側の指摘内容も担当者の知識のレベルに影響されるケースがある」とし、指摘内容に疑義がある場合の対応について言及した。

### Cグループ

行政の担当者によって実地指導の内容に差異があるため、を受けた指導の内容について情報共有ができるような事業者同士の連携と、事業者側から提案できるような関係性を行政と結ぶべきとの考察を交え発表。

青木氏からは「行政と双方向のコミュニケーションをとろうという姿勢はとても参考になる。行政、事業所双方が勉強するつもりで実地指導に取り組めば必ずプラスになる」とのコメントが寄せられた。

## 参加者の声



### ■特別養護老人ホーム 施設長 介護福祉経営士2級 男性

グループワークで情報交換ができたのでとても学びになった。



### ■社会保険労務士 介護福祉経営士2級 男性

実地指導の流れがよく理解できました。

### ■病院 主任 介護福祉経営士2級 男性

グループワークで他の施設の状況を聞くことができ、注意点・配慮する点を確認できました。



### ■法人本部 女性

実地指導については今までは“対策（もしくは対決）”というスタンスで臨んでいたのですが、その考え自体が間違いであったと気づかされました。



最後に青木氏は「本日の講義や、グループワークの発表の内容は明日からの業務に役立つ要素が多かったと感じている。実地指導をうまく活用し、サービスの質と生産性の向上につなげていっていただきたい」と述べ、研究会は幕を閉じた。

未来志向型介護経営研究会は今後も介護業界におけ

る最新のトレンドの中から介護経営にかかわるテーマを積極的に取り上げていく。

特にグループワークは現場同士の情報交換ができる貴重な機会となるため、ぜひこの機会を活用して介護経営のスキルを磨いていただきたい。

日本介護福祉経営人材教育協会 関東支部


# 未来志向型介護経営研究会 開催のお知らせ

WEBでの申し込みは  
こちらから



申し込みチラシ  
同封中!

未来志向型介護経営研究会とは——介護福祉や医療など社会保障全般に関する最新情報の共有、重要テーマに関する研究を行うことで、介護経営の未来図（経営ビジョン）を描いていくことを目的として開催されている。

開催日	テーマ	講師
3/17 (火)	<b>【介護事業所の事業計画作成】</b> 介護業界の環境変化に対応しつつ、中長期的な法人のビジョンに沿った事業計画・経営計画の策定方法について、事例を交えながらポイントを学んでいきます。   <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 今後の業界の変化に対応できる柔軟な体制づくりをしたい!</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 他事業所の事業計画について知りたい!</li></ul>	<b>小寺 俊弘氏</b> ●独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンターリサーチグループ 公益法人の本部で福祉事業部門の統括や中期経営計画・事業計画策定等に従事。2016年4月より独立行政法人福祉医療機構に参画し、福祉・医療分野の経営動向や政策動向の調査・分析に従事。

**会場** ニッテン神田ビル3階 セミナールーム (東京都千代田区神田東松下町17)

**時間** 19:00~21:00 [第1部]基調講演 19:00~20:00 [第2部]グループワーク 20:00~21:00

**受講料** 2,000円:介護福祉経営士(当協会会員)、4,000円:『介護ビジョン』定期購読者、提携団体会員、6,000円:一般

お問い合わせ先

日本介護福祉経営人材教育協会  
関東支部(日本医療企画 関東支社内) 担当:堀口・小林  
TEL:03-3256-2885



研究会の詳細やその他  
セミナーなどの情報は協  
会HPをご覧ください



vol.4

## 入選作品掲載

# 第4回「介護福祉のみらい」作文コンクール

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、将来を担う中学生、高校生が、介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する場として、第4回「介護福祉のみらい」作文コンクールを実施。全国から寄せられた448編から黒澤貞夫審査委員長（一般社団法人介護福祉指導教育推進機構代表理事）のもと厳正な審査が行われた。入選作品を紹介する。

### 佳作

## 「言葉から見えたもの」

原田 彩花さん

(山形県立山辺高等学校 福祉科 2年)

私は、県立高校の福祉科に在籍している。学校での学習と、施設や事業所での実習で、福祉・介護について日々学び、考えを深めている。その中で非常に興味を持っているのは、福祉・介護業界が抱えている「人手不足」についてだ。よく、ニュースや新聞でも目にする言葉だ。

私は、これまで二回の実習を経験した。私がお世話になった施設では、利用者の方のプライバシーの保護が厳重におこなわれていた。また、望む生活に耳を傾け、可能な限り実現し、関わりの際の言葉遣いもとても丁寧で、利用者の方への敬愛が感じられた。そこに入所されている利用者の方も、安心した生活を送られているように見えた。この施設に入所されている方は、充実したサービスを受けていると感じ、そのようなサービスを提供できる介護福祉士になりたいと思った。学校に戻り振り返りのグループワークがあった。私は、友人の話に耳を疑った。その内容は「車いすの二台押し」「赤ちゃんと接するかのような言葉遣い」「飲み込みを確認せず、次々と口に運んでいるように見える食事介助」など、耳を塞ぎたくくなるような話ばかりだった。基本の介護からは、大きく外れている。グループワークから、介護の質は同じではないと感じた。それと同時に、人手不足の現状を知ることができた。しかしながら、自分がお世話になった施設を思い出し、人手不足という言葉で片付けてはいけない何かも感じた。授

業のまとめでは、利用者の方は人生の大先輩であり、お一人おひとりの人生や生活と向き合わせていただいているということをお忘れてはいけない。だからこそ、敬意をもって関わらせていただくことの重要性を学んだ。

このことから、人手不足の問題は、その数だけではないことに気づいた。むしろ問題なのは、人手不足により、サービスの質が低下することや、利用者の方の尊厳と安心した生活を守れなくなることが問題ではないかと考えるようになった。そして、その重大さに気づいた。それは、人材を増やしてゆつりある時間を増やすことで本当に解消されるのか、介護ロボットと介護職が共生することで、人のサービスが向上すれば解消できるのか、今の私には、まだわからない。

福祉を学んでいる私ができることは、その魅力を伝えることだ。介護の仕事を知らない人に言いたい。「介護の仕事はすごい」。かつて懸命に働き、今を懸命に生きる人生の先輩の支援を間近でさせていただき、人生の歩み方を学ぶことができる。互いに「ありがとう」という言葉を大切に、感謝し合うことができる誇り高く尊い職業だと私は考えている。そのことに、多くの人に気づいて欲しい。今はまだ、学習の中で福祉・介護に関する想いや考えが、日々変化している。しかし、その根底にある、介護の仕事がしたい、楽しいという気持ちは変わらない。学びを深め、大先輩と共に歩める人になっていきたい。

### 受賞者コメント

この度は、このような賞をいただきありがとうございます。

今、日本では介護業界の「人手不足」が問題視されていますが、それを理由に「介護の在り方」が変わってはいけないと、これまでの学習をとおして感じました。これからの福祉を支える一人の担い手として、今回の受賞を糧に、信頼される介護福祉士を目指して学習に取り組んでいきます。

(左から) 吉田晴美教頭、原田彩花さん、今崎絵理教諭





地域のニーズをすくい上げ  
地域から超高齢社会を支えていくための  
視点を具体的事例とともに掲載

# 介護ビジョン

今月の

## 第1特集

### 介護って何だ？

#### これからの介護を考える5人のビジョン

介護保険導入から20年。日本の少子高齢化がますます加速するなか、介護の意味や役割が問い直されている。

本特集では過去の歴史を振り返るとともに、介護職に新たな役割を見出した5人のリーダーへのインタビューを通して、「介護」とは何なのか、これからの介護には、何が求められているのかについて改めて考察する。



加藤忠相  
株式会社あおいけあ  
代表取締役



下河原忠道  
株式会社シルバーウッド  
代表取締役



馬場拓也  
社会福祉法人  
愛川舞寿会 常務理事



菅原健介  
株式会社ぐるんどびー  
代表取締役



藤岡聡子  
ほっちのロッジ共同代表  
株式会社ReDo代表取締役

## 第2特集

### 発想から変わる!?

#### 仕事に活きる職場外活動

注目の  
書籍紹介

## 訪問看護の社長業

### 最高のサービスを生み出す組織の作り方

地域シェアNo.1の高品質サービスはいかにして生まれたのか

創業から15年で年間売上30億円、社員数600人超！  
訪問看護のパイオニアは、いかにして急成長を遂げたのか。

独自の高品質サービスで高収益を生み出し、東京都城南エリアで最大規模の在宅医療事業者へ拡大したソフィアメディ株式会社の創業者が明かす事業成功の秘訣。

地域シェアNo.1を獲得するための営業戦略、マーケティングの判断基準、女性スタッフが輝く職場環境づくり、長期事業計画の立て方など、在宅医療・介護サービスの経営者・従事者が知りたい経営ノウハウが満載！

はじめに	はじめに
推薦のことば	山崎摩耶(元衆議院議員・元日本看護協会常任理事)
第1章	訪問看護の業界事情と事業成功の基本条件
第2章	訪問看護ステーションの立ち上げ方 安定・成功への方策
第3章	地域シェアNo.1を実現するための社長の営業・販売姿勢
第4章	内部体制づくりと現場環境整備の要諦
第5章	訪問看護ステーションの繁栄に向けた社長の経営計画
第6章	ソフィア経営塾で将来の幹部・起業家を育成
おわりに	

【著者】水谷和美(ソフィアメディ株式会社創業者) 【ISBNコード】ISBN978-4-86439-886-2  
【体裁】A5判、176ページ、本文2色刷 【発行】日本医療企画  
【定価】本体2,500円+税 会員特別価格:2,200円(税込)

2020年3月号  
(2020年  
2月20日発売)



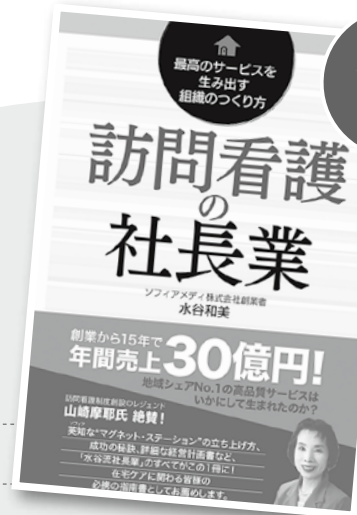
リニューアル号

詳しくは

介護ビジョン

検索

- 毎月20日発行
- 定価:1,296円(税込)
- 定期購読料:15,552円(税込)
- ※会員価格は12,444円(税込)



注文書  
同封

# 開催決定

## 第5回

# 全国介護福祉総合フェスティバル in 仙台

### 日時

2020年  
11月13日(金)・14日(土)

### 会場

東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

(宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-26)

【アクセス】・JR仙台駅徒歩3分 ・地下鉄東西線宮城野通駅徒歩3分

全国介護福祉総合フェスティバルは、「介護福祉経営士」による問題提起、発信を行うと同時に、幅広い世代、立場の人々が地域の介護福祉のあり方について考え、未来への夢をふくらませる場として、毎年開催されています。



詳細や過去の開催の様子は  
協会ホームページ  
(<http://www.nkfk.jp/>)  
からご確認ください▶▶▶



## 「介護福祉経営士」出前説明会をご活用ください

費用  
無料

本会では「介護福祉経営士」資格認定制度および資格のメリット、具体的な活用方法等について、詳しくお伝えすることを目的に『出前説明会』を承ります。

### 条件

- ①原則5名以上が参加すること(複数事業者が参加する研修会等も可)
- ②説明会場をご用意いただけること

### 所用時間

30分～1時間程度(ご要望に応じます)

### 内容

「介護福祉経営士」とは(資格の目的など)／資格認定の流れ／資格認定試験および学習方法について／資格取得後のフォローアップ、等

### 応募方法

開催希望日の2週間前までに当協会HPの「お問い合わせフォーム」からお申し込みください。折り返し本会事務局よりご連絡申し上げます。

お問い合わせ内容を記入する欄に、下記項目を入力してお送りください。

- ①希望日程 ②説明会場(予定でも可) ③参加予定人数 ④連絡先電話番号



2020年1月に行われた関西地区での説明会の様子

出前説明会ご案内ページはこちら



ご注意

日程その他の事情により、ご要望にお応えし兼ねる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

東海支部

小濱道博先生による介護保険制度改正  
最新情報解説と実地指導対策

ケアマネジャーの処遇改善加算の行方や訪問・通所の軽度者を総合事業に移行する準備、実地指導は半日型が増加して実施件数に重点化など、大きく変わり続ける制度改正について解説する。介護事業の経営者、管理者、職員は必聴。

- 日時：2020年3月27日(金) 13:30～16:30
- 講師：小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表)
- 会場：岐阜市生涯学習センター ハートフルスクエア-G 研修室50  
(岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地23)
- 受講料：介護福祉経営士正会員2,500円、一般3,000円
- 後援：日本介護福祉経営人材教育協会東海支部

お問い合わせ

C-MAS介護事業経営研究会岐阜中支部  
各務克郎税理士事務所  
TEL:090-4860-5401

関西支部

医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士 合同研究会  
石井ゼミ  
2020年度診療報酬改定後の医療経営を考える

「病院から在宅へ」を促す流れが益々色濃く反映されていくなか、病床機能の行方や地域医療構想への対応、働き方改革など、さまざまな課題と直面することが予測される。本ゼミでは、診療報酬改定の要点整理から地域包括ケア時代が求める経営戦略について考察する。

- 日時：2020年3月28日(土) 14:00～17:00
- 講師：石井富美氏(多摩大学 医療・介護ソリューション研究所副所長)
- 会場：上田公認会計士事務所セミナールーム  
(大阪府大阪市中央区道修町1-7-10 扶桑道修町ビル2F)
- 参加費：協会会員3,000円、一般4,000円 ※税込  
※研究会終了後、懇親会を予定(自由参加、会費4,000円)
- 定員：35名 ※定員になり次第、締め切り

お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部  
TEL:06-7660-1761

中国支部

ヘルパーの調理で“栄養管理”を実践  
—調理を“身体介護”で算定し、126%増収を実現した事例—

2018年度介護報酬改定では訪問介護の「生活援助中心型」の基本報酬が引き下げられ、「身体介護中心型」が引き上げられた。その際、大幅な減収を見越して「調理」を“身体介護”で算定する取り組みを開始した訪問介護事業所川内の里(社会福祉法人楽友会)は、訪問介護事業単体で126%増収という成果を上げた。本研究會では、取り組みの推進役となったサービス提供責任者が導入事例を語る。

- 日時：2020年3月28日(土) 14:00～16:00
- 講師：河野幸子氏(社会福祉法人楽友会 訪問介護事業所川内の里 サービス提供責任者)
- 会場：RCC文化センター(広島県広島市中区橋本町5-11)
- 受講料：協会会員3,000円、一般4,000円 ※税込
- 定員：30名※事前申し込みが必要です。

お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会 中国支部  
TEL:092-418-2828

日本医療企画

2020年度診療報酬改定を読み解く  
～これからの病院経営戦略とは～

入場  
無料

- 内容：  
講演1「2020年度診療報酬改定を読み解く～これからの病院経営戦略とは～」  
講演2「失敗しない病院建て替え」  
シブヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社  
講演3「大きな目標に向け、個々の力を最大に活かすチームづくり」  
茂木健太氏(Co-Creations株式会社代表取締役)

【宇都宮会場】

- 日時：2020年3月4日(水) 13:00～16:30
- 講師(講演1)：長英一郎氏(東日本税理士法人代表社員・所長/介護福祉経営士1級)
- 会場：栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市本町1-8)
- 定員：70名

【さいたま会場】

- 日時：2020年3月11日(水) 13:00～16:30
- 講師(講演1)：網代祐介氏(社会医療法人社団光仁会第一病院 医療福祉連携室室長兼法人管理企画部経営企画室/介護福祉経営士1級)
- 会場：埼玉県男女共同参画推進センター(埼玉県さいたま市中央区新都心2-2)
- 定員：90名
- 共催：大和ハウス工業株式会社

お問い合わせ

株式会社日本医療企画  
TEL:03-3256-2885

日本医療企画

医療・介護経営セミナー  
地域包括ケア時代を生き抜く医療・介護経営戦略

入場  
無料

団塊ジュニアが65歳以上となり、高齢者数がピークを迎える2040年に向けた施策が動き出している。「高齢者の急増」から「現役世代の急減」へと局面が変化するなか、医療・介護の経営はどうなっていくのか。医療・介護を取り巻く激変を乗り切り、2040年以降も地域で選ばれ続けるための経営戦略について語る。

- 日時：2020年3月6日(金) 13:00～17:40
- 内容：  
第1部「2040年を見据えた戦略的病院経営(仮)」  
武久洋三氏(日本慢性期医療協会会長、  
医療法人平成博愛会博愛記念病院理事長)
- 第2部「2040年に向けた介護事業者の生き残り戦略(仮)」  
神内秀之介氏(ふくしのよろずし内商店合同会社代表/介護福祉経営士1級)
- 第3部「医療機関・介護事業者に求められるBCP(仮)」  
SOMPOLリスクマネジメント株式会社
- 会場：仙台銀行本店9階講堂(宮城県仙台市青葉区一番町2-1-1)
- 定員：100名 ※定員になり次第、締め切り
- 主催：仙台銀行、きらやか銀行
- 共催：株式会社仙台銀キャピタル&コンサルティング、  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社、  
SOMPOLリスクマネジメント株式会社、  
株式会社日本医療企画
- 協賛：NDソフトウェア株式会社、  
仙台北ヨペット株式会社、  
東北ミサワホーム株式会社
- 後援：宮城県非官公病院理事會、  
株式会社日本政策金融公庫、  
一般社団法人日本医療経営実践協会、  
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 東北支部  
TEL:022-281-8536